

県遺族通信

発行：一般財団法人

岡山県遺族連盟

(086) 271-7175

令和7年4月20日

No. 8

令和7年度事業計画決定

（理事會・評議員會開催）

県連盟では、3月14日（金）に理事會、同じく27日（木）に評議員會を開催し、新年度の事業計画案及び予算案を審議・決定しました。事業計画の概要は次のとおりです。

【事業計画の概要】

1 英霊顕彰運動の推進

- (1) 総理・閣僚等の靖國神社参拝の継続・定着運動の推進並びに国立の戦没者追悼施設建設構想の阻止
- (2) 知事等、各界代表の岡山県護國神社参拝
- (3) 市町村における慰霊祭等の実施
- (4) 岡山県護國神社並びに忠魂碑等の護持の実施
- (5) その他
 - ① 靖國神社、県護國神社の慰霊行事等への奉賛協力
 - ② 市、町、村、地区等の慰霊行事等への奉賛協力
 - ③ 旧陸軍墓地慰霊行事に対する奉賛協力
 - ④ 全国戦没者追悼式への遺族

- ⑤ 代表の派遣
- ⑥ 戦没者追悼式
- ⑦ 巡拝事業の実施
- ⑧ 慰霊友好親善事業及び遺骨帰還事業、政府及び日本遺族會主催の戦跡慰霊巡拝事業への参加者派遣及び参加促進

2 処遇改善運動の推進

- (1) 公務扶助料等の改善及び全国戦没者追悼式への参列者拡大の要請

3 組織の充実強化

- (1) 孫や曾孫等の入会を推進し県単位の青年部の拡大強化を推進し後継者育成研修會・勉強會などを開催
 - (2) 孫・曾孫等を含めた合同研修會や女性部研修會を実施
 - (3) 各遺族會の研修會等への孫、曾孫等の参加と意識醸成
 - (4) 「県遺族通信」の年2回発行、ホームページによる情報発信、「日本遺族通信」の購読推奨
 - (5) 終戦八十周年記念・平和の語り部活動への取組
- ① 戦争の悲惨さを体験した遺族が、青年部と一体となり、遺族會活動を次世代に継承。

県遺族代表者大会開催

- ① 語り部事業の周知を図るとともに、平和の語り部の発掘・育成や平和祈念館での語り部活動等を実施。
- ② 各遺族會における「語り部の會」の企画・実施、市町村の追悼式や忠魂碑等での慰霊祭等での語り部の実施
- ③ 財源の確保
- ④ 公益目的支出計画の実施期間等を見据えた会の運営
- ⑤ 県連盟及び各遺族會とも、各自自治体への財政支援の要請
- ⑥ 高齢者の福祉充実に関する事業
- ⑦ 百歳長寿の祝いと一人暮らしの妻への慰問
- ⑧ 各遺族會における一人暮らし遺族に対するボランティア活動
- ⑨ 遺族からの相談対応

11月30日（土）に「岡山芸術創造劇場ハレノワ」で、岡山県戦没者遺族代表者大会を開催。約六百人の遺族代表が参加して、



県知事代理の上坊勝則副知事や福田司県議會議長代理、本県選出の衆参國會議員、そして水

第79回全国戦没者遺族大会に参加

落敏栄日本遺族會會長などが出席した。大会では、総理等の靖國神社参拝の定着や特弔の継続・増額、平和の語り部などの重点要望を始めとする来年度政府予算案の概算要求に計上された遺族処遇改善項目の完全実現などを決議した。

令和6年12月10日（火）、東京の自由民主党會館で、全国の戦没者遺族代表約三百人が参集し、国会議員176人が出席して、第79回全国戦没者遺族大会が開催され、令和7年度政府予算に要望事項が完全実現するよう決議がなされました。県連盟からは、大月理事長をはじめ6名の役員を派遣いたしました。



本県参加者は、大会終了後、水落敏栄日本遺族會會長ともども加藤勝信財務大臣に直接陳情したほか、阿部俊子文部科学大臣や地元選出の自民黨国会議員に対しいくつかの要望事項を提出し、実現を期すよう活動を行いました。